



みんなの「なんなの?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)



信毎こども記者ニュース

発行/連絡先

こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南県町657
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.61

信毎こども記者クラブは5月25日に長野市松代町で写真教室を開きました。城下町、松代の写真を

まつしろ まち と 松代の町を撮りました

撮った15人のうち、こども記者クラブの教室に初めて参加してくれた人が10人もいました。5月31日の信毎こども新聞に記事をのせきれなかった初参加の8人の記事をしょうかいします。



加藤京記者
長野市4年
「たけのこ いっぱいあった」

真田でい、いっぱいタケノコがありました。1回、写真をとったら、でっかい木のぼうがじゃまだったけど、1こはタケノコがとれて、うれしかったです。さいしょは、ぼうがあって、わかんなかったけど、帰ってアップさせたら、3、4本ありました。へんだったけど、とれてよかったです。



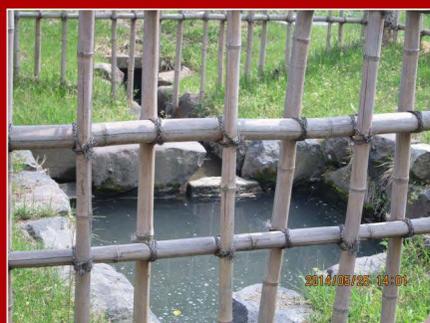
駒木希美記者
長野市4年
「ひぐち家のいろり」

こども新聞の取材で松代のまちをたんけんしました。江戸時代の建物がたくさんあり、その中でひぐち家に入りました。その中に、いろりがありました。わたしたちの住んでいる家には、いろりはありません。昔の家には今みたいにガスコンロはないので、火を使って食べ物を作り、いろりのまわりで家族が集まり、話したりして生活していました。ひぐち家は昔、お金持ちのぶしの家だったそうです。屋根はわらでできています。かべは土でできています。5月に行ったので五月人形がかざってありました。松代は江戸時代のようなあと思いました。



小川瑞葵記者
長野市6年
「真田邸のかべについて」

真田宝物館に行きました。真田氏の大名道具を展示している博物館で、近くにある真田邸と同じつくりの建物です。殿様が住んでいた真田邸のかべは、なまこかべと白かべです。なまこかべとは、江戸時代の武家屋敷の土蔵づくりのかべで、自地をしっかりと半円形にもり上げたものです。白かべとは、白いっくいでめったかべです。ほくの家のかべと比べてみると、土でしっかりと固めてつくってある真田邸のかべの方がしっかりしてそうに見えました。江戸時代にこのような建物をつくった人はすごいと思いました。



酒井今日香記者
長野市4年
「真田邸の泉水枀」

真田邸の庭には、泉水枀があります。わたしが最初に見た時には、「池かなあ、池ならこんなに小さくないなあ、何だろう」と思いました。かんぱんの説明を見ると、泉水枀と書いてありました。御殿に流れ込む水に含まれる砂などを、泉水(池)の手前で沈殿させる役割を果たしています。昔の人が考えてつくった水をきれいにする工夫のようです。この枀は、発掘調査によって検出されたものです。これからも、発掘調査で昔の人の生活が分かる物がいろいろ出てくると、昔の人の生活の工夫や生活の仕方とかが分かって楽しいと思いました。



こども記者クラブのメンバーを募集しています。メンバーになると、特製記者バッジと名刺をプレゼント。「こども記者クラブ希望」と書いて、信毎地域活動部までどしどし応募してくださいね。